

人類の平和への羅針盤 憲法9条



日本の明治維新以来の歴史は戦争の連続でした。朝鮮半島の植民地化を足場に中国大陸、東南アジア全域に戦火を広げ、遂には米英等とも無謀な「太平洋戦争」を開始しました。その結果、アジアの人々2000万人、日本人310万人の命を奪い、各地の大空襲、沖縄の悲惨な地上戦、遂には広島・長崎への原爆投下という痛苦の経験を経て、やっと平和を回復しました。

第2次世界大戦末期に誕生した国連憲章は、第7章の例外を除き人類史上はじめて戦争を違法化しました。しかし、その1ヶ月半後には人類絶滅の危機をはらむ核兵器が広島・長崎で使用されました。こうした中で生まれた憲法9条は、国連憲章をさらに大きく前進させ、戦争や武力による威嚇・武力行使を永久に放棄したのみならず、その確かな裏付けとして戦力を持たないことを宣言し、国の交戦権も否認しました。

憲法9条は日本人にとって、「もう戦争は絶対にごめん」という心の底からの叫びであり、「アジアの人々に二度と銃口を向けてはならない」という固い誓いです。それは日本のみならず21世紀の人類を平和に導く羅針盤です。

あなたも憲法9条の輪に

東日本大震災は言葉に尽くせない甚大な被害をもたらしました。深刻な放射能汚染をもたらした原発事故は、原発の本質的な危険性を露わにしました。いのちと暮らしを何より大切にする憲法の立場で対処することが強く求められています。また、戦後、自衛隊が外国人を直接の武力行使で殺さずに今日まで来られたのは、まぎれもなく憲法9条のおかげです。この素晴らしい憲法9条を広める動きが世界各地にひろまりつつあります。

しかし残念ながら、自衛隊を自由に海外派兵して「戦争ができる国」にしよう、そのために憲法9条を改悪しよう、あるいは解釈によって憲法9条を空洞化しようという人たちがいます。「何としても憲法9条を守り生かしたい!」との想いで、「憲法9条京都の会」は、さまざまな活動を行っています。

ぜひ、あなたも憲法9条の輪に!!

日本国憲法第9条

- 1 項 日本国民は、正義と秩序を基調とする国際平和を誠実に希求し、国権の発動たる戦争と、武力による威嚇又は武力の行使は、国際紛争を解決する手段としては、永久にこれを放棄する。
- 2 項 前項の目的を達するため、陸海空軍その他の戦力はこれを保持しない。国の交戦権はこれを認めない。

Article 9 of THE CONSTITUTION OF JAPAN

1. Aspiring sincerely to an international peace based on justice and order, the Japanese people forever renounce war as a sovereign right of the nation and the threat or use of force as means of settling international disputes.
2. In order to accomplish the aim of the preceding paragraph, land, sea, and air forces, as well as other war potential, will never be maintained. The right of belligerency of the state will not be recognized.

かけがえのない九条



代表世話人のみなさん

憲法9条は日本と世界の宝

日本国民は、恒久の平和を念願し、人間相互の関係を支配する崇高な理想を深く自覚するのであって、平和を愛する諸国民の公正と信義に信頼して、われらの安全と生存を保持しようと決意した。(憲法前文より)

憲法9条京都の会

〒606-8109 京都市左京区高野玉岡町 1-101

TEL : 050-7500-8550 FAX : 075-712-5657

E-mail : kenpo@9-kyoto.net

HP : <http://9-kyoto.net/>



「9条をまもろう」が 京都で大きくひろがる

2004年4月、「憲法署名京都実行委員会」が発足し、2005年秋には約18万筆の請願署名を国会に届けました。これらの運動の広がりの中で2008年6月「憲法9条京都の会」が結成されました。古い歴史と進取の精神に溢れた京都にふさわしく、世話人の方々も全国的に著名な宗教学者・哲学者・研究者・芸術家・医療関係者・マスコミ関係者・市民運動家等多彩な顔ぶれです。各地域・分野・職場等で賛同の輪が大きくひろがっています。

あなたも是非、賛同者になってください!!

